

ハートフルなんぶ

2023. 5月号 vol. 295

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

新任職員紹介

4月に新任職員を2名迎えました。

4月に館長として着任した松本直樹と申します。図書館業務に携わるのは初めてとなります。『市民の知的欲求に応え、自立を支える利用しやすい図書館』を目指し、職員全員で努めてまいります。

この度、南部図書館館長補佐として着任しました小林雅治です。図書館勤務は初めてですが、市民の皆様にしみをもって利用いただける図書館になるよう努めてまいります。よろしくお祈りいたします。

新刊案内

- 『霸王の轍』 相場 英雄／著 小学館 <Fア>
『グレイスレス』 鈴木 涼美／著 文藝春秋 <Fス>
『木挽町のあだ討ち』 永井 紗耶子／著 新潮社 <Fナ>
『蝙蝠か燕か』 西村 賢太／著 文藝春秋 <Fニ>
『数学の女王』 伏尾 美紀／著 講談社 <Fフ>
『よき時を思う』 宮本 輝／著 集英社 <Fミ>
『不思議カフェ NEKOMIMI』 村山 早紀／著 小学館 <Fム>
『固結び』 山本 一力／著 文藝春秋 <Fヤ>
『迷宮遊覧飛行』 山尾 悠子／著 国書刊行会 <914. 6ヤ>
『銀座に住むのはまだ早い』 小野寺 史宣／著 小学館 <915. 6オ>
『ストーンヘンジ』 山田 英春／著 筑摩書房 <233ヤ>
『もしもワニに襲われたら』 ジョシュア・ペイビン／著 文響者 <369ア>
『満洲国の近代建築遺産』 船尾 修／著 集広舎 <523フ>
『資産形成の超正解』 鈴木さや子／著 <591ス>
『草笛光子 90歳のクローゼット』 草笛光子／著 主婦と生活社 <589ク>
『よねさんの免疫力超アップの食卓』 米澤 佐枝子／著 三笠書房 <596ヨ>

5月のテーマ「本屋大賞」

- ・『スモールワールズ』 一穂 ミチ／著 講談社《Fイ》・『正欲』 朝井リョウ／著 新潮社 《Fア》
- ・『六人の嘘つきな大学生』 浅倉 秋成／著 KADOKAWA 《Fア》
- ・『夜が明ける』 西 加奈子／著 新潮社 《Fニ》
- ・『52ヘルツのクジラたち』 町田 そのこ／著 中央公論社 《Fマ》
- ・『お探し物は図書室まで』 青山 美智子／著 ポプラ社 《Fア》
- ・『犬がいた季節』 伊吹 有喜／著 双葉社 《Fイ》・『逆ソクラテス』 伊坂 幸太郎／著 《Fイ》
- ・『自転しながら公転する』 山本 文緒／著 新潮社 《Fヤ》
- ・『八月の銀の雪』 伊与原 新／著 新潮社 《Fイ》



Essay

「本屋大賞の本」

寄稿：ひよこ豆

私は本が好きでよく書店にも行きます。図書館にも行きますが、図書館は何か調べたいことがあって、そのために通うことの方が多いです。書店だと行くたびに置かれている本が違い、今何が売れているのか、どんな本がブームなのかを知る楽しさがあります。

「本屋大賞」というのがあって、その年に書店員さんが自分で読み、面白くてお客さんにも勧めたくなる、売りたい本を書店員の投票によって決定するのだと、ネットで調べたら書いてありました。2004年に始まったようです。過去にノミネートされた本をホームページで調べてみると、その中には読んだことのある書名もいくつかありました。

私は特に最新の話題の本を読みたいというわけではない。本屋大賞に選ばれているとは知らずに、好きな分野の小説を買ってみたら面白かったという本もあります。

平積みになって置かれている本を目にすると、「そんなにこれを売りたいのか。じゃあ買ってみるか」と思って手にすることも。それが実は本屋大賞の本だったりします。

2008年に大賞だった『ゴールデンスランバー』(伊坂幸太郎著)は書店の入口近くに平積みされていたのを今でも思い出します。特に期待はせずに読んだのですが、とても面白くて、この本を通して「伏線を回収する」のを読む楽しさを初めて知ったと思います。そうすると伊坂さんの他の作品も読みたくなります。

2007年に2位だった『夜は短し歩けよ乙女』も好きで、森見登美彦さんの不思議でユーモラスな世界観が自分の好みに合いました。自分の大学生時代を思い出します。まだ社会に出ていないまま、妄想の中で生きているような主人公の姿がなつかしく思います。

最近では2020年の『線は、僕を描く』(砥上裕将著)が良かったです。映画にもなり、観ました。たまたま見た水墨画の世界に引き込まれ修業をする主人公。こういう若者の修業による成長物語も好きです。

本の好みは人それぞれで、勧められても自分に合うかどうかは分からない。それでも自分は何がすきなのかを知るためには、いろんな本に触れてみるのはいい事だと思います。

参考図書：『ゴールデンスランバー』伊坂 幸太郎／著 新潮社 《Fイ》

『夜は短し歩けよ乙女』森見 登美彦／著 KADOKAWA 《Fミ》

『線は、僕を描く』砥上 裕将／著 講談社 《Fト》

南部図書館

開館カレンダー

2023年5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2023年6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です

6月20日(火)～7月4日(火)は蔵書点検のため、休館いたします。

